

平成 25 年度学校評価実施計画

学校名 大分県立別府青山高等学校

前年度評価結果の概要	○「分かりやすい授業」の評価については、全職員が分かる授業の実施や授業観察を通じて授業改善に取り組むことができた。○基本的生活習慣の定着を目指し、保護者と連携した登校指導によるあいさつの励行や始業前予鈴の実施、頭髪服装検査等に取り組むことができた。○キャリア教育を「3つの向上」の更なる充実ができ、キャリア教育シラバスが完成した。○学校行事や部活動の活性化が図られ、生徒の豊かな人間性の育成できた。 ●家庭学習の習慣化が不十分である。●進路希望達成のための学力向上を一層推進することが課題である。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学校教育目標	中期目標	重点目標
「明るく、強く、心温かく」の校訓のもと、「知・徳・体」のバランスが取れた豊かな心を持つ生徒を育成し、地域に信頼される学校を目指す。	① 学力の向上と進路希望の達成 ② 豊かな人間性の育成 ③ 地域に信頼される学校づくり	① 分かりやすい授業の工夫や家庭学習の充実等による学力の向上 ② 基本的生活習慣の定着と学校行事・部活動等を通じた豊かな人間性の育成 ③ 「3つの向上」を柱とするキャリア教育の充実 ④ 中高連携の推進と情報発信の充実

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
① 分かりやすい授業の工夫や家庭学習の充実等による学力の向上	◆生徒アンケートの授業評価3以上が80%以上 ◆進研模試での各学年到達目標の達成 ◆家庭学習時間2時間以上の生徒の割合50%以上	(1)授業の充実 ・発問を重視した授業の研究 ・1時間完結型授業の徹底 ・互見授業の完全実施 (2)教師の教科指導力向上と生徒の学力向上 ・他校先進授業の視察 ・大学入試問題及び外部模試問題の分析・研究 ・生徒による授業評価の実施 ・県外調査の実施 ・各学年到達目標の設定 ・生徒の実態に即した課題の作成 ・上位者指導の充実 (3)学習習慣の確立 ・全学年での学習オリエンテーションの実施 ・クラス担任面接の充実 ・教科面接の実施 ・家庭学習時間調査の実施と分析・活用 ・特別活動・部顧問との連携	◇指導主事招聘の研究授業を全教科で実施 ◇互見授業を年間2回実施(校内外) ◇他校先進授業視察(年間1回) ◇入試問題分析会を各教科で各学期に1回開催 センター試験・進研模試(過去3カ年)および九州大学・大分大学の 2次試験問題の研究 ◇生徒による授業評価の実施(7月、12月) ◇県外学校を視察・調査、情報の共有化 (教科会議・職員会議での報告) ◇各学力層に応じた課題の作成 ◇上位者層への添削の実施 学年到達目標(類型)1,2年11月進研模試、3年9月進研マーク模試 3年…B1ゾーン10名、B2ゾーン30名(5教科)*累計 2年…B1ゾーン15名、B2ゾーン40名(3教科) 〃 1年…B1ゾーン20名、B2ゾーン50名(3教科) 〃 ◇青高テストを年間8回実施 ◇学習オリエンテーションを実施(全学年・全教科 4月中) ◇生徒面接の実施…全学年全クラス、各学期1回以上 ◇教科面接の実施 成績不振者…長期休業中に実施。 成績上位者…1・2年は11月模試後、3年は適宜実施 ◇家庭学習時間調査実施(年間2回6月、9月)、結果の分析・活用 ◇青高テスト前の部活動休止期間における学習時間の確保 ◇青高タイム(毎週月曜)の効果的実施	PL:教務主任 SL:学年主任 PL:教務主任 SL:キャリア教育主任 学年主任 PL:教務主任 SL:学年主任・教科主任
② 基本的生活習慣の定着と学校行事・部活動等を通じた豊かな人間性の育成	◆生徒アンケートの身だしなみ評価3以上が80%以上 ◆教室環境整備評価3以上が80%以上 ◆部活動加入率80%以上(5/10現在)	(1)規範意識の確立 ・身だしなみ指導の充実 ・あいさつ指導の充実 ・清掃指導の充実 ・自転車マナー(二重路ロック・音楽再生機器使用禁止)の充実 ・時間厳守(45分授業・遅刻指導)の徹底	◇生徒指導部重点目標による特化した指導の徹底 ◇頭髪・服装検査はより効果的な方法を検討し、毎月実施 ◇身だしなみセミナー・マナーセミナーの実施(年1回) ◇登校時のあいさつ指導の実施(毎日)と、生徒会と連動したあいさつ運動の展開 ◇清掃道具の点検及び清掃方法の具体的指導 ◇自転車通学生集会の実施(年2回) ◇部活動生集会、部活動生清掃活動(校外も含む)実施(毎月1回) ◇予鈴で入室、本鈴で授業開始の徹底 ◇遅刻指導の徹底	PL:生徒指導主任 SL:学年主任

平成 25 年度学校評価実施計画

学校名 大分県立別府青山高等学校

前年度評価結果の概要	○「分かりやすい授業」の評価については、全職員が分かる授業の実施や授業観察を通じて授業改善に取り組むことができた。○基本的生活習慣の定着を目指し、保護者と連携した登校指導によるあいさつの励行や始業前予鈴の実施、頭髪服装検査等に取り組むことができた。○キャリア教育を「3つの向上」の更なる充実ができ、キャリア教育シラバスが完成した。○学校行事や部活動の活性化が図られ、生徒の豊かな人間性の育成できた。 ●家庭学習の習慣化が不十分である。●進路希望達成のための学力向上を一層推進することが課題である。
------------	-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

学校教育目標	中期目標	重点目標
「明るく、強く、心温かく」の校訓のもと、「知・徳・体」のバランスが取れた豊かな心を持つ生徒を育成し、地域に信頼される学校を目指す。	① 学力の向上と進路希望の達成 ② 豊かな人間性の育成 ③ 地域に信頼される学校づくり	① 分かりやすい授業の工夫や家庭学習の充実等による学力の向上 ② 基本的生活習慣の定着と学校行事・部活動等を通じた豊かな人間性の育成 ③ 「3つの向上」を柱とするキャリア教育の充実 ④ 中高連携の推進と情報発信の充実

PL:プロジェクトリーダー、SL:サブリーダー

重点目標	達成(成果)指標	重点的取組	取組指標	PL SL
② 基本的生活習慣の定着と学校行事・部活動等を通じた豊かな人間性の育成	◆生徒アンケートの身だしなみ評価3以上が80%以上 ◆教室環境整備評価3以上が80%以上 ◆部活動加入率80%以上(5/11現在)	(2) 明るさ、強さ、心温かさの育成 ・健康・安全指導及び環境の整備 ・人権を尊重する態度の育成 ・自主性と思いやりの心を育てる学校行事の推進	◇ロッカー、昇降口の整理 ◇昼食ホールの整備 ◇保健だより発行(毎月1回以上) ◇教育相談だより発行(毎月1回以上) ◇人権講演会の実施(年1回)	PL: 生徒指導主任 SL: 特別活動主任
		(3) 学習と部活動の両立 生徒会活動の充実	◇クラス担任と部活動顧問との情報交換会の開催(各学期1回) ◇考査期間中の練習時間厳守及び下校時間の徹底 ◇他校の生徒会との交流会、情報交換会	PL: 特別活動主任 SL: 生徒指導主任
③ 「3つの向上」を柱とするキャリア教育の充実	◆キャリア教育シラバス、年間指導計画の運用・充実 ◆生徒アンケートの進路指導評価3以上が80%以上 ◆英検2級15人以上、準2級70人以上の合格 ◆英検2級資格を用いた推薦・AO入試合格者の拡大(推薦・AO入試合格者15名以上) ◆生徒アンケートの図書館活動評価3以上が85%以上	(1) 総合的な学習の時間を活用した「目的意識の向上」	◇先生の一講座の実施(1年) ◇探究学習の充実(2年) ◇宿泊学習合宿の実施(3年) ◇進路講演会の実施(生徒・保護者 年間3回実施) ◇大学訪問の実施(1、2年) ◇大分大学「チャレンジ講座」の活用	PL: キャリア教育主任 SL: 学年主任
		(2) 単位制の特色を生かした「学習意欲の向上」	◇英検の全員受験(1・2年) ◇進路を踏まえた自由選択科目の履修 ◇3年次5クラス編成実施 ◇土曜講座については、年間計画の立案と計画的実施	PL: キャリア教育主任 SL: 学年主任・英語科主任 教務主任
		(3) 読む・書く・話すを中心とした「人間性の向上」	◇朝読書の充実(一斉読書・読み聞かせ等) ◇各教科と図書館の連携強化と図書館活用の活性化 ◇3年間を見通した小論文模試の実施 ◇複数名の担当者による小論文指導の徹底 ◇ショートスピーチの計画的な実施(1、2年 年2回)	PL: キャリア教育主任 SL: 学年主任、司書教諭
④ 中高連携の推進と情報発信の充実	◆高校入試での志願者数の増加 ◆オープンキャンパス参加者数の増加 ◆PTA総会への参加率70%以上 ◆学年PTAへの参加率70%以上 ◆生徒アンケートの情報発信評価3以上が80%以上	(1) 中高連携の推進 ・中高連絡会の充実 ・オープンキャンパスの内容の充実 ・高校説明会の工夫 ・定期的な中学校訪問の実施 ・中学生向け「清流」速報版の発行	◇中高連絡会年2回(6月と11月)の実施と内容の精選 ◇オープンキャンパス充実 積極的な広報活動、説明内容の工夫と精査 ◇中学校訪問の毎月実施(校長・教頭・分掌主任) ◇「清流」速報版を月2回以上発行(各中学3年生のHRIに掲示依頼)	PL: 総務・保健主任 SL: 学年主任
		(2) 情報発信の充実 ・保護者との連携 ・学年PTAによる保護者との連携強化 ・保護者向け学年通信や「清流」速報版の発行 ・ホームページの充実	◇学校行事のPTAとの連携(登校指導、文化祭、クラスマッチ) ◇学年PTAの開催(年1回以上) ◇PTA活動の活性化(除草作業、進路講演会、ネットパトロール研修会等) ◇学年通信の発行(毎月1回) ◇ホームページの更新(毎週1回)	PL: 総務・保健主任 SL: 学年主任